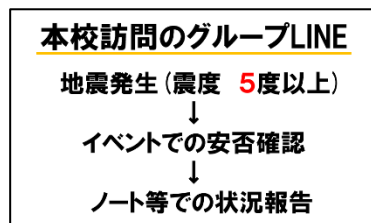


「防災研修」児童生徒支援部

本校訪問教育部では、1学期に2回防災研修（教職員対象）を行いました。

第1回目の研修は「安否確認（HPとLINE）、状況報告、避難場所、備蓄」についての確認をしました。まず部長からは安否確認および状況報告の話がありました。各自スマートフォン等を持参し、実際にグループLINEのイベントやノート機能を使用しながら確認しました。大規模災害発生時の避難に関しては「通勤途中・授業時間中・自宅」等、災害発生想定場所をイメージしておくことの大切さを伝えました。

災害伝言ダイヤル（171）・災害用伝言板（web171）や災害専用の無料Wi-Fi（00000JAPAN）についても再確認しました。新転任の教員については、校内の避難場所と校内備蓄品の確認をしました。



第2回目の研修では「南海トラフ地震」「梅田の津波 繁華街の揺れ」について確認しました。本校訪問教育部は病院に移動して授業を行います。梅田を通ることもあり、1回目に引き続きどのような困難が予想されるのか具体的に想定し、今できることは何かと問いかけました。教頭からは、南海トラフ地震の「半割れ」「全割れ」について、また災害地での救助の経験から「水」と「トイレ」の大切さの説明がありました。

梅田防災スクラムや災害時帰宅支援ステーションの情報についても情報提供しています。学校長からは小口径桝を活用した非常用トイレの為のテントについて購入したとの話があり、届き次第、使用方法や活用方法について情報共有していきたいと考えています。

【今、できることは？】

職場、自宅、通勤途中等々…。
実際起こりうる**困難**を
具体的に**想定**
可能な限り**対処**する

梅田防災スクラム

梅田は、**地下に2万人。**
何となく、**覚えておこう。**

参考：梅田地区エリアマネジメント実践連絡会

「想定しておく大切さをあらためて考える機会になった」「自分の命を守ることができてはじめて児童生徒や家族を助けることができるのではないか」という感想が教員からありました。

研修の様子を録画したものを高等部生徒が後日視聴しています。児童生徒はもちろん、教職員も安心安全な学校生活を送るため、そして2学期の防災避難訓練に向け、引き続き防災について学んでいこうと考えています。